

授業改善推進プラン（教科 数学）

作成者 須田 健太郎

課 題		指 導 の 手 だ て	
全学年の共通課題 ・基礎学力の定着、向上 ・数学への興味、関心を高める ・数学に触れ合う ・最後まであきらめない		・数学の問題すべてに必要とされる「基礎計算力」の向上を図るために、毎日計算をする習慣を身に付けさせる。授業の冒頭で計算問題を復習し、家庭学習として基礎計算の課題を与える。 ・「わかる」授業に努め、数学の問題を解くことに達成感や自信をもたせ、学習意欲を高めていく。 ・数学コーナーを充実させ、復習として役立てたり、他学年の授業内容の見通しをもたせたり、常に数学と触れ合う環境をつくる。 ・小数、分数など苦手意識をもつ分野は小学校との連携を図り粘り強く復習することで、あきらめない習慣を身に付けさせる。	
学年毎の課題	学 年	実 態	指 導 の 手 だ て
	1 年	好奇心があり、教え合い意欲的に取り組んでいる。発言は一部の生徒になってきた。	・正負の数の基礎計算力の定着を目指し、毎日の反復学習に取り組む。 ・既習事項を忘れないために、常に復習を意識した授業を実践する。 ・グループ学習（学び合い）を重視し、学級全体で高まっていけるような授業（環境）をつくる。
	2 年	授業に興味をもち、わからない部分を学び合いながら進めることができる。	・文字式の計算や方程式など基礎計算力の定着を目指し、家庭学習ノートを中心とした毎日の反復学習に取り組む。 ・図形分野における証明の理論や考え方に力を入れ数学的な思考力を高める。 ・板書を整理し、視覚に訴える授業を実践することで、生徒の記憶に残る授業づくりをする。
	3 年	授業に集中し、説明等をしっかり聞く。 わかろうとする意欲が感じられる。	・講義形式だけではなく、ゲーム的な要素を取り入れたり、生徒の数学への興味、関心を高める授業を実践する。 ・授業で学んだことを定着させるために、課題をたくさん与えることで家庭学習の習慣化を目指す。 ・習熟度に応じて個に対応した授業展開も行う。

